

GPD-4920

分散処理高速メモリンクインタフェースモジュール用 DOS ライブラリ



概要

GPD-4920 は、DOS 上のアプリケーションから、弊社分散処理高速メモリンク製品を制御するためのソフトウェアです。

特長

- スレーブインタフェースモジュール上にある 64MB の共有メモリ(DPRAM)へアクセスしデータのリード/ライトをするだけで、容易にデータの送受信を行うことができます。
- インタフェースモジュールからの割り込み発生時にイベントを発生させることができます。
- 32 ビット×127 件の FIFO を使用したデータ転送を行うことができます。FIFO を制御コマンド転送用として使用することより、DPRAM をデータ転送専用の領域として使用できます。
- ウォッチドッグタイマの状態をもう一方の分散処理高速メモリンクから確認することが出来るため、相互にシステムの監視を行うことができます。
- STB, ACK を利用した同期処理を行うことができます。
- フリーランカウンタが自システム、対向システム両方からリード可能であるため、このカウンタの値(時間)を基準に制御を行うことができます。
- 弊社 CPZ シリーズの分散処理高速メモリンクが実装されている弊社 CPZ FA システム(システムユニットと CPU モジュールの組み合わせ)に対してリセットを出力することができます。
- 弊社 CPZ シリーズの分散処理高速メモリンクが実装されている弊社 CPZ FA システム(システムユニットと CPU モジュールの組み合わせ)に対して電源制御を行うことができます。
- 各機能の利用例を示したサンプルプログラムが付属しています。ソースを公開していますので、自由にプログラムを拡張することができます。
- インタフェースモジュールの診断を行うプログラムが付属しています。

対応 OS

Interface DOS System(ネットワークモデル)
Interface DOS System(日本語環境モデル)

対応言語

Turbo C Ver. 2.0(英語版)
Turbo C++ Ver. 4.0
Borland C++ Ver. 5.0, 5.2
Microsoft C Ver. 6.0
Microsoft C/C++ Ver. 7.0, 8.0
Open Watcom C/C++ Ver. 1.5, 1.6

注意事項

—